

早期臨床体験実習Ⅲ 【Early Clinical Exposure Ⅲ】

担当責任者 早期臨床体験実習検討小委員会委員長

ねらい

救急医療における多職種によるチーム医療の訓練を体験し、
救急医療現場での医師の役割、医師像を明確にし、今後の学習意欲の向上につなげる。
救急救命士の訓練の現場を見学(一部体験)し、専門性を身に着けるための心構えや身に着けるべき態度を学ぶ。
将来医師を目指す医学生としての、心構えや身に着けるべき態度を学び、目標とする医師像を明確にする。

学修目標

1. 多職種の連携による医療・生活の現場を体験実習し、チーム医療の重要性を理解する。(VI-3, VI-4, VI-5)
2. 救命救急の医療現場で必要とされる知識・技術を理解する。(II-7)
3. 救命救急でのチーム医療の重要性、医療現場での医師の役割を理解する。(VI-3, VI-4, VI-5)
4. 救命処置や医学的根拠に基づく傷病者観察と判断を身につける。(II-7)
5. 医師として、救急医療の現場におけるチーム医療でのリーダーシップの重要性を理解する。(II-12)
6. 医学生としてふさわしい、身なり、態度で行動する。(I-5)
7. 将来医師となる自分が今後なすべきことを自覚する。(I-4, I-5)

事前事後学習の方法

1. 事前学習 準備授業で説明する注意事項を実習前に再度確認する。高齢者福祉医療制度について予習する。
2. 事後学習 実習中に経験した臨床的知識を確認し、自己学習の機会にする。

成績評価方法・基準

出欠状況(欠席は原則認めない)、実習態度、各職種からの評価、学修目標の理解度、レポートによって総合的に判定する。
実習であるので出勤が原則である。止むを得ない理由のない欠席・遅刻、服装の乱れ、態度不良、居眠り、積極性欠如などは不合格である。

○教科書

特に指定しない

○参考書

担当教員の指示に従う

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.12.16	木	5・6	早期臨床体験実習Ⅲ(準備授業・目標シート作成)	A	5,9	1,1	山本幸代 (医学教育担当)
R4.1.13~19	木~水	1~8	早期臨床体験実習Ⅲ	〃	〃	〃	〃
1.20	木	5	早期臨床体験実習Ⅲ(振り返り授業・レポート作成)	〃	〃	〃	〃